

Contents:

1. 症例登録状況
2. 分担研究者会議の報告
3. 全参加施設会議の報告
4. フォローアップ分担研究班班会議の報告
5. 介入の進捗状況
6. 施設紹介

1. 症例登録状況

昨年12月末より参加施設の皆さまにはこれまで登録していただいた症例のデータチェックをお願いしておりました。皆様のご協力、誠にありがとうございます。

2013年9月9日現在、2108名をご登録いただいております。（下図）。

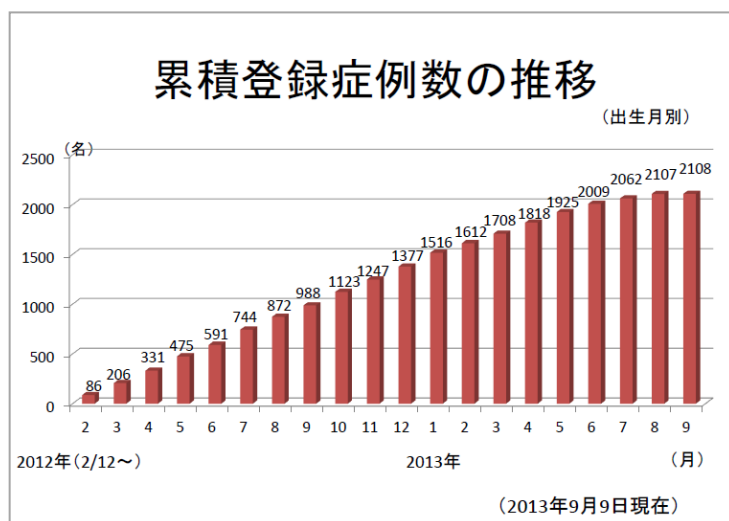


図. 出生月別INTACT対象登録患者数の推移

2. 分担研究者会議の報告

2013年6月3日に分担研究者会議が東京で行われました。ここでは、①平成23,24年度の進捗状況の報告、②平成25年度の研究予算決定の報告、③分担研究者の研究テーマと今後の予定、④研究班全体の今後の予定について討議されました。

平成25年度の予算額は2500万円となっており、厳しい状況にあります。登録症例数は平成26年2月には目標である2400例にし、年度末には介入は終了する見込みであり、その後は対照群への後期介入に着手する予定です。

会議議事録は、ホームページにアップしてありますので、宜しければご参照ください。

<http://www.nicu-intact.org/document/research-plan.html>

3. 全参加施設会議の報告

2013年7月14日に全参加施設会議が行われました。研究全体の進捗状況および今年度の研究予定、予後評価について報告がありました。予後評価については、事前にアンケートを行い、Q&A形式で報告し、実践に役立つ内容でした。Q&A集として、ホームページにアップしてありますので、宜しければ、ご覧ください。
(<http://www.nicu-intact.org/document/research-plan.html>)

図. 全参加施設会議



4. フォローアップ分担研究班班会議の報告

9月6日にフォローアップ分担研究班(分担研究者:河野由美先生)が行われました。修正1歳半での評価のQ&A案の検討、3歳での評価シート案の検討、ベイリー発達検査と新版K式発達検査の相関研究などについて、討議されました。

本研究では、フォローアップ率の向上のために、人材面では心理士派遣を行い、システムとしては、評価可能時期の2カ月前と評価終了2カ月前に本部よりアラートメールを自動送信することとしました。また、転院・転居に伴うフォローアップ施設のコーディネイトも本部が担当しております。また、評価の質を担保するために、今年度も心理士対象の研修会を12月8日に開催する予定となりました。

フォローアップは、2013年8月よりすでに修正1歳半の予後評価が始まっております。皆さま、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

5. 介入の進捗状況

5-1) 新任担当者研修会(2013/6/28)の報告

年度が変わり、施設担当者・看護担当者の交代が数施設ありました。新任の担当者の皆様には研究の概略の説明やファシリテーション研修をさせていただきました。ファシリテーションについては、加留部貴行先生(九州大学大学院統合新領域学府客員准教授)をお招きし、ワークショップ形式の講義をしていただきました。

5-2) 報告会開催(2013/7/13)の報告

介入を開始して約1年半が経過し、各介入施設から進捗状況を報告していただきました。今回は森臨太郎先生のご提案で、スライドは用いずに、ラウンドテーブルディスカッションの形式で行いました。報告会は和やかに進み、発表最後に、どの施設の発表がよかったかを参加者全員で投票しました。第一位は名古屋第一赤十字病院、第二位は石川県立中央病院、第三位は浜松医科大学附属病院でした。入賞、おめでとうございます。



図. ラウンドテーブルディスカッションの様子



図. 入賞施設の表彰

5-3) 介入施設への2回目のフォロー訪問

介入施設19施設への2回目のフォロー訪問が9月半ばより始まっております。右に日程を示します。

訪問では、各施設の進捗状況の報告や今後の方向性などについて和やかにディスカッションしています。

詳細については、次号で改めてご報告させていただきます。



図. 埼玉医科大学総合医療センターへのフォロー訪問

日程	訪問施設
9月18日	浜松医科大学附属病院
9月19日	埼玉医科大学総合医療センター
9月22日	横浜労災病院
9月27日	久留米大学病院
10月2日	県立広島病院
10月4日	北野病院
10月11日	大阪府立母子保健総合医療センター
10月12日	信州大学医学部附属病院
10月15日	高槻病院
10月17日	国立成育医療研究センター
10月19日	川口市立医療センター
10月21日	聖隷浜松病院
10月22日	愛染橋病院
10月23日	石川県立中央病院
10月25日	鳥取大学医学部附属病院
10月28日	秋田赤十字病院
10月29日	名古屋第二赤十字病院
10月30日	名古屋第一赤十字病院
10月31日	高知医療センター

6. 施設紹介(浜松医科大学附属病院)

規模 NICU 9床、GCU 6床

施設の特徴

静岡県西部に位置する、地域周産期医療センターです。聖隷浜松病院をはじめ、他の3施設と連携しながら地域の新生児医療を担っています。大学病院であるため、合併症母体から出生した時やFGR児・先天異常をもつ症例の割合が多いです。

研究に参加した動機・期待

少ない専任医師と外部施設との交流が少ない看護師で、在胎28週以上に限って診療を行なっていました。症例数が少ないなかでも、周囲に取り残されないで最低限標準的な新生児医療を実践していきたいと考えていました。INTACTは、外部の眼を入れたり自分たちが見学に行ったり、ガイドラインを勉強したり講師を招聘したりして、施設の新生児医療をレベルアップしていくラストチャンスだと思い、参加しました。研究参加施設中では最小規模ですが、たくさんの人とのつながりを大切に、今後の継続的な取り組みにつなげていきたいと思います。(施設担当者:大石 彰)

看護担当者から

皆様の協力の元、蘇生とPDAの課題に取り組んでいます。最近、24週の児も受け入れているので、INTACTに参加出来たことの学びが役だっています。チーム全体ではコミュニケーションや情報交換の機会が増えてチーム力が増えています。(看護担当者:川根 敏子)



スタッフから

「チームで考えるPDA治療」の課題を掲げ、PDA治療方針の検討と看護ケア項目等も含めたマニュアルの作成を行っています。私達のこれまでの日常業務や様々な疾患の患児への看護ケア方法も、改めて見直すきっかけとなりました。院内では他病棟との比較の難しいNICUという領域にある中で、他施設への訪問や情報交換・共有の機会があった事は、大変大きな学びとなっています。(PDAチームリーダー:北川 友香里)

蘇生マニュアルを作成、最近は蘇生シミュレーションを定期的に行い、日頃の蘇生へのスキルアップを図っています。また、蘇生カンファレンスを行い、実際の症例を振り返ることでケアの向上につなげ、実践に生かしていきたいと頑張っています。(蘇生チームリーダー:多々良 真希)



図. 蘇生シミュレーション



図. カンファレンス

施設長から

このINTACTに浜松医大NICUが参加できたことは、診療面でも、研究面でもとても意義深いものと感じています。まずKick-offのときに、森先生や豊島先生はじめ、多くの中心メンバーが浜松医大にお越し頂き、具体的な内容を熱心にお話されたことに感動しました。スライドや話の内容も、このために多大な時間を割いて作って頂いたものであり、その意気込みにも圧倒されましたし、レクチャーも実際に行った作業も楽しかったです。みんなで一緒に医療を行い、蘇生法やPDA管理の向上を目指す素晴らしい契機になっており、感謝申し上げますと共に、私達も努力したいと考えています。(小児科教授:緒方 勤)



《事務連絡》

◎2013年8月より修正1歳半の評価が始まっております。ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

◎2013年12月8日に心理士対象の研修会が開催される予定です。

◎フォローアップのQ&A集ができました。ホームページからダウンロードできます。

(<http://www.nicu-intact.org/document/research-plan.html>)

三ツ橋偉子、西田俊彦、佐々木八十子、松田直子
東京女子医科大学母子総合医療センター
周産期研究事業支援室
〒162-8666 東京都新宿区河田町8-1
WEB : <http://www.nicu-intact.org>
TEL/FAX : 03-5269-7444(直通)
official MAIL : nicu-intact.ae@boshi.twmu.ac.jp